



読者の皆さまの声を紹介します。  
 ありがとうございます。

●香山リカさんのインタビュー記事、興味深く読ませていただきました。ストレス社会では避けて通れないことだけど、少しでも自分らしくいられたらいいなと思いました。  
 (K.Tさん)

●初めて拝見したのですが、勉強になる内容が盛りだくさん。これからは足しげく公民館に通つて、頂いて来ようと思ひます。私〜主人〜年老いた両親に回し読みします。もう少しやさしいと娘(中学生)も読めると期待しております。  
 (神奈川県・嶋村淳子さん)

●去年の暮れからファイナンシャルプランナーの資格の勉強をしています。3級が合格したので、2級に向け悪戦苦闘しています。知つていて生活のために役立つことはかりなので今後のためにがんばります。くらしの金融知識は特に今後の生活に参考になりますよ。  
 (茨城県・マリアンさん)

●町内会での金融ガイダンス実施状況を紹介して欲しいです。全体的に報告記事のみに徹しているようです。ユニークさに乏しいですね。(広報だより)できれば、受

講の感想を紹介されたり、地域でのオリジナル情報を掲載すると興味も沸きますが…。  
 (北海道・さつげんちゃんさん)

●「わたしはダマサレナイ!!」の民事訴訟裁判告知、私や妹あてに実際に来ました。地元の警察に電話したところ「捨てていいです」と言われてひと安心!なので、このマンガは人ごとは思えません。  
 (宮城県・まるちゃんさん)

●この広報誌は以前から知っていたのですが、金融なんて難しそうと思ひ、敬遠していました。ところが読んでみるとおもしろく、一気に最後まで読んでしまいました。これからも楽しみにしています。  
 (和歌山県・いっぺいママさん)

●初めてこの広報誌を読みました。私も「金融は自分とは関係ないもの」と考えてきたひとりだと分かりました。小学生が『貯金より利息の多い個人向け国債を買いました』というお話にもあるように、正しい情報を知ることができれば、考え方が変わっていくということがよく分かりました。  
 (静岡県・メイさん)

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。平成21年8月31日までにご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン\*＆メモ帳」をプレゼントいたします。  
 ※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう一工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけ
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
 日本銀行情報サービス局内  
 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛  
 メール : info@saveinfo.or.jp  
 FAX : 03-3510-1373  
 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとに故事ことわざなどを考えてみてください。一番最初の文字をつなげると、本誌に登場した印象的な言葉が浮かび上がってきますよ。さて何でしょうか。

ヒント

- A. 絵空事で役に立たないこと
- B. 誰でも弱点はある
- C. 過去にあったことはいつの時代も起こるもの
- D. ほんのちよっと
- E. 無駄に使ってはいけません

A.					モ	チ			
B.					ナ	キ	ド	コ	口
C.				ク	リ	カ	エ	ス	
D.				ナ	ミ	ダ			
E.				カ	ネ	ナ	リ		

※答えは次号掲載

●前号の答え

ようしよく(養殖)  
 前号の「金融教育の現場レポート」では、ワカメの養殖などを通し、子どもたちがさまざまな体験を積み重ね、学んでいく姿が印象的でした。